
いわき景気ウォッチャー調査 vol.1

平成 14 年 2 月調査結果

平成 14 年 3 月 27 日
東日本国際大学 地域経済研究所

・ 調査概要

1. 調査目的

いわき地域における景気の動きを観察できる人々の協力のもと、いわき地域の景気動向を的確に把握し、もって同地域の景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向の 3 分野からそれぞれ景気動向を敏感に把握できる人々（現時点で約 50 名）を景気ウォッチャー（アンケート回答者）として任命し、これを調査客体とする。

3. 調査事項

- 質問 1：景気の現状に対する判断
- 質問 2：景気の方角（3ヶ月前との比較）に対する判断
- 質問 3：質問 2 の理由
- 質問 4：今後の景気の方角（2 から 3 ヶ月先の方向）に対する判断
- 質問 5：質問 4 に対する理由
- その他：特徴的な動きに対する自由記述

4. 調査・発表時期

毎 2 月、5 月、8 月及び 11 月調査のものを次月の 3 月、6 月、9 月、12 月の発表する。

（参考）DI（ディフージョン・インデックス）の定義及び算出方法

景気の現状および景気の先行きに対する 5 段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え(下記表参照)、これらを各回答区分の構成比(%)の乗じて算する。DI が 50%であることは“変化がない”と判断した景気ウォッチャーが半数いることを意味し、50 より多くなれば“良くなっている”あるいは“良くなる”と判断した景気ウォッチャーが多くなりことを、50 より低い場合はその逆を意味する。

$$DI = \{ A \times (+1) \times A \text{ の回答者} + B \times (+0.75) \times B \text{ の回答者} + C \times (+0.5) \times C \text{ の回答者} + D \times (+0.25) \times D \text{ の回答者} + E \times (\pm 0) \times E \text{ の回答者} \} \div \text{全回答者数} \times 100(\%)$$

	A	B	C	D	E
評価	良くなっている・良くなる・良い	やや良くなっている・やや良くなる・やや良い	変わらない・どちらとも良くない・どちらともいえない	やや悪くなっている・やや悪くなる・やや悪い	悪くなっている・悪くなる・悪い
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

・ 調査結果

1. 結果概要

景気の現状に対する判断では、“悪くなっている”は 56.8%で、これに“やや悪くなっている”の 30.7%を加えると 87.5%となり、軒並みかなりの景気下降局面にあることを示している。

分野別の“悪くなっている”は、家計動向関連は 60.0%、企業動向関連 53.6%及び雇用関係 50.0%と全分野で半数以上となっている。なお、家計動向関連の中では、住宅関連が 100.0%と最悪であり、

ついで飲食関係の60.0%が続く。

景気の先行きに対する判断では、“悪くなる”は36.4%で、これに“やや悪くなる”の25%を加えると61.4%となり、先行き悪化の傾向を示している。

分野別には、企業動向関連が“悪くなる”60.0%と“やや悪くなる”20%を併せて80.0%が先行き悪化と判断している。これに対して家計動向関連では、“変わらない”46.4%と現状維持の傾向が現れなどの温度差が見られるものの、全体では“悪くなる”25.5%と“やや悪くなる”25.0%と併せて50.0%が先行き悪化の判断を示している。雇用関連は“悪くなる”がゼロに転じ、“やや悪くなる”50.0%、“変わらない”50.0%と極めてわずかながら下げ止まり感が現れている。なお、家計動向関連の中では、住宅関連が“変わらない”100.0%を現状維持となっているのに対し、飲食関係60.0%、小売関連44.4%では先行き悪化と判断している。

一般に地域経済動向は全国動向に半年から1年程度、場合によっては2年程度のタイムラグがあるといわれているが、3月11日発表の全国景気ウォッチャー調査（内閣府）では“景気はなお低迷しているものの、景気循環の谷が近づきつつある”（参考1）としているのに対して、福島県経済でまず東北経済連合会の調査では“悪化のテンポを緩めている”としているものの全体としては低迷しているとしており、また福島県発表の景気動向では依然景気の下降局面にあることを物語っているなど、いわき地域の動向を含め、地域経済は依然低調となっている。

なお、本調査はあくまでも時点との比較による景況感を表すもので、当該景況の絶対的水準を示すものではない。従って経済が低位水準にあっても上向き判断が示されることになる。

参考1：全国動向

3月11日発表された2月の全国景気ウォッチャー調査（内閣府）によると、景気の現状の現状に対する判断指数は33.1と4ヶ月連続で前月を上回った。しかし景気の横這いを示す50を19ヶ月連続で下回っており、景気の悪化傾向は続いている。また、今後2~3ヶ月後の先行きに対する判断指数は、38.9で2ヶ月連続で前月を上回った。

こうした状況を踏まえ、内閣府では“景況感は底入れの方向に向かっている”としている。また、1月の景気動向指数（内閣府）は、5~6ヶ月先の景気動向を示す先行指数が75.0%となり、判断の分かれ目である50%を8ヶ月ぶりに上回った。現状を表す一致指数は13ヶ月連続で50%を割り込んであるが、内閣府では“景気はなお低迷しているものの、景気循環の谷が近づきつつある”としている。

参考2：福島県動向

東北経済連合会が3月19日発表した東北地域の四半期経済活動報告（2001年10月-12月）によると、福島県の景気は鉱工業生産低下の動きがさらに広がり、雇用環境も一段と厳しさを増しており、全体としてはさらに悪化しているとしている。

また、福島県が発表した景気動向指標では、先行指数は12ヶ月連続、一致指数は10ヶ月連続及び遅効指数は17ヶ月連続で50%を下回っており、県内景気が依然下降局面にあることを物語っている。

なお、東北全体では、東北経済連合会が2002年1月景気動向でみると、全体としては依然低調だが、鉱工業生産指数が前月比で3ヶ月振りに水準を上げているため、“平成14年1月の動きを中心とした東北の景気は、悪化のテンポを緩めている”としている。

2. 2. 景気の現状判断

(1)景気の現状判断 DI(今回分)

区 分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
合計	0.0%	3.4%	9.1%	30.7%	56.8%	14.8
家計動向関連	0.0%	3.6%	8.9%	33.9%	53.6%	15.6
小売関連	0.0%	0.0%	5.6%	38.9%	55.6%	12.5
飲食関連	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	10.0
サービス関連	0.0%	8.3%	16.7%	33.3%	41.7%	22.9
住宅関連	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0
企業動向関連	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	60.0%	13.8
雇用関連	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0

	A	B	C	D	E
合 計	0.0%	3.4%	9.1%	30.7%	56.8%
家計動向	0.0%	3.6%	8.9%	33.9%	53.6%
企業動向	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	60.0%
雇用動向	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

< 凡例 >

A	B	C	D	E
・良くなっている ・良くなる	・やや良くなっている ・やや良くなる	変わらない	・やや悪くなっている ・やや悪くなる	・悪くなっている ・悪くなる

(2)景気の現状判断 DI(推移)

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
	2	0.0%	3.4%	9.1%	30.7	56.8	14.8
	5 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
02	8 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	11 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(3)景気の現状判断 DI (推移)

DI	02年2月	02年5月	(前回差)	02年8月	(前回差)	02年11月	(前回差)
合計	14.8		(-)		(-)		(-)
家計動向関連」	15.6		(-)		(-)		(-)
小売関連	12.5		(-)		(-)		(-)
飲食関連	10.0		(-)		(-)		(-)
サービス関連	22.9		(-)		(-)		(-)
住宅関連	0.0		(-)		(-)		(-)
企業動向関連	13.8		(-)		(-)		(-)
雇用関連	25.0		(-)		(-)		(-)

3. 3. 景気の先行き判断

(1)景気の先行き判断 DI (今回分)

区 分	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
合計	2.3%	2.3%	34.1%	25.0%	36.4%	27.3
家計動向関連」	3.6%	0.0%	46.4%	25.0%	25.5%	33.0
小売関連	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	44.4%	22.2
飲食関連	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	30.0
サービス関連	0.0%	0.0%	58.3%	41.7%	0.0%	39.6
住宅関連	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
企業動向関連	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	17.5
雇用関連	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	37.5

	A	B	C	D	E
合 計	2.3%	2.3%	34.1%	25.0%	36.4%
家計動向	3.6%	0.0%	46.4%	25.0%	25.5%
企業動向	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%
雇用動向	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

< 凡例 >

A	B	C	D	E
・良くなっている ・良くなる	・やや良くなっている ・やや良くなる	変わらない	・やや悪くなっている ・やや悪くなる	・悪くなっている ・悪くなる

(2)景気の先行き判断 DI (推移)

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
	2	2.3%	2.3%	34.1%	25.0%	36.4%	27.3
	5 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
02	8 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	11 (前月差)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(3)景気の先行き判断 DI (推移)

DI	02年2月	02年5月	(前回差)	02年8月	(前回差)	02年11月	(前回差)
合計	27.3		(-)		(-)		(-)
家計動向関連	33.0		(-)		(-)		(-)
小売関連	22.2		(-)		(-)		(-)
飲食関連	30.0		(-)		(-)		(-)
サービス関連	39.6		(-)		(-)		(-)
住宅関連	50.0		(-)		(-)		(-)
企業動向関連	17.5		(-)		(-)		(-)
雇用関連	37.5		(-)		(-)		(-)

(以上)